青山同窓会報

《 発行所 》
青 山 同 窓 会
〒951-8127 新潟市中央区關屋下川原町2-635
新 潟 県 立 新 潟 高 等 学 校 内
TEL 025-266-5268
FAX 025-266-5268

《 編集・発行人 》
敦 井 榮 一

《 印刷所 》
株式会社第一印刷所
〒950-8724 新潟市中央区和合町2-4-18
TEL 025-285-7161
FAX 025-282-1776

ご挨拶

青山同窓会会長
敦井　榮一（69回）'61卒

平成の時代が終わり、令和の時代に入りましたが、同窓会会員の皆様方におかれましてはお変わりなく、お健やかにお過ごしのことと存じます。

さて、全国大会等で活躍する現役生を側面支援する資金を募るための口座「がんばれ青山」の開設を今年1月発行の会報にてお知らせし、ご寄付を呼び掛けいたしましたところ、早速百万円を超える寄付をお寄せ頂きました。ご寄付頂いた皆様方には本欄をお借りして御礼申し上げます。

先般、同窓会の役員会にて、同窓会の会計から毎年10万円を寄付することを、また、資金の支出方法につきましては、毎年20万円を学校長へお渡しし、個別の配分は学校長に一任することを合わせて決定いたしました。これにより、今後10年間は資金が底をつくことはありませんが、この取組みを永続していくためには皆様方からのご寄付に頼るほかありませんので、趣旨にご賛同を賜り、継続的にご寄付いただきますようお願い申し上げます。

同窓会としては、いずれ社会に巣立つ母校の後輩たちを温かく見守り、社会の先輩として出来うる支援を皆様と共に考えて参りたいと考えております。また大学生の時にリクルート活動の一環として同窓会総会に参加して人脈づくりを図り、地元新潟の将来を担う人材として地元企業に就職してもらえたら望外の喜びです。そうしたつながりを大切に、連携の場を提供していけるような同窓会になるために活動を展開してまいる所存であります。

近年、総会の出席者数は減少傾向を続けていますが、この傾向を打破して五百名の参加を目指すため、卒業後5年以内の同窓生の参加費を半額に設定するなど工夫を施しています。本年は7月12日（金）の午後6時から開催いたします。これまで参加したことの無い方もお気軽にご参加いただき一緒に校歌や丈夫を歌いましょう。

母校の後輩の活躍と卒業生の皆様方のご健勝とご活躍を祈念し、併せて母校新潟高校のますますの発展を願いご挨拶と致します。

平成31年 青山同窓会新年会の報告

吉沢　優美（通46回）'04卒

2月15日（金）は連日の厳しい寒さが少し緩む日となり、「新年おめでとうございます」の声があちらこちらで聞こえてくると、ホテルイタリア軒の会場は年明けすぐのおめでたい気分が戻ってくるようでした。今成悠理子さん（117回）の司会で定刻通りに開宴、58回卒から120回卒まで計１１０名ほどの同窓生が出席しました。

はじめに、敦井榮一会長（69回）より「平成最後の新年会」開催のご挨拶を頂きました。続いて山田喜昭副校長より、現役生の進学状況や部活動での華々しい功績についてご報告頂き、特にスポーツでは女子の活躍と、文科系で放送部の活躍が素晴らしいとのお話でした。篠田昭前新潟市長（75回）からは、４期16年のお勤めを振り返られてのご挨拶を頂きました。

続いて吉田徳治幹事長（83回）から祝電等メッセージの披露がありました。花角英世知事（85回）からは6月の選挙のお礼が、石崎徹議員（110回）からは党厚生労働部での話題が代読されました。

砂田徹也副会長（81回）に乾杯の発声を頂き懇親会が始まりました。今回の新年会には親子で参加される方が二組いらしたとのことで、母校への愛校心や青山同窓生の世代を超えた交流の機会が継がれてゆく素晴らしさを感じました。

アピールタイムでは品田泰さん（101回）より現在60回～110回台までと幅広い同窓生が参加する青山ゴルフ会入会が呼びかけられました。

和やかな歓談タイムも終宴が近づくと、恒例の丈夫斉唱です。品田泰さんの音頭で100回卒以降が登壇し、雄々しき歌が会場中に響きました。私事ですが丈夫を歌うのは15年以上ぶりで、歌詞も振りも身体に染みついていたことに驚きました。

渡邉毅副会長（85回）の万歳三唱で、平成最後の青山新年会が華々しく締めくくられました。みなさまの笑顔から、昭和から平成、新元号令和の時代へと、これからも青山同窓会が連綿と続いてゆくことを感じさせる、素晴らしい新年会でした。

就任の御挨拶

校長　市川　亮

このたび、飯田校長の後任として、歴史と伝統ある新潟高等学校の校長を務めることとなりました。よろしくお願い申し上げます。

着任早々の始業式では、生徒の様子に、早速、本校の質の高さを見ることができました。整然とした整列、しっかり声をそろえての校歌斉唱、物音一つしない静寂の中で講話を聞く態度、いずれも生徒のすばらしさを物語っていました。このような生徒のいる学校に勤めることを光栄に思い、また、その責任の重さを感じております。

現在の校歌については、『青山百二十年史』によると、昭和27年、礒幸次郎校長(第17代)は、新しい校歌に教育目標を高らかに歌い込もうとして、作詞に当たって、堀口大学に、伸展していく伝統に触れること、教育の基調をインテレクト(知性)とウィズダム（英知）におくこと、「志は高く天の星にかけよ」とばかりに理想を高く掲げることを希望したとあります。「伝統遠き丘の上　古き誇りを新しく」、「叡知の花の香を慕ひ　理想の星のひかり追ひ」の部分に、このことがよく表れていると思います。

始業式の翌日に行われた対面式では、この校歌を歌えるのは本校生徒の特権であり、先輩から後輩へと歌い継がれてきた歌詞の深い内容をかみしめながら歌ってほしいと、全校生徒に伝えました。第二の教育目標とも言える校歌に、本校の崇高な教育理念を感じるとともに、畏敬の念を抱くものです。

校長室には、校歌が書かれた額とともに、堀口大学の書「花はいろ　人はこころ」も掲げられています。これらを見上げながら、有為な人材を輩出してきた本校の役割に鑑み、生徒それぞれの「理想の星」の追求のために、学校教育活動に取り組んでいくという使命を、ひしひしと感じているところです。

青山同窓会の皆様方には、今後とも、母校の教育活動について、これまで同様、格段の御支援、御協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

退任挨拶

前校長　飯田　昭男

２年前、石井充校長の後任として着任し、２年間という期間限定で、伝統ある新潟高校の校長を務めてまいりました。この間、青山同窓会の皆様方から多大なご支援とご助言をいただき、教職員とともに、意欲ある生徒の学びに関われたことは大変光栄なことでした。

同時に、新潟高校の１３０年近い輝かしい歴史と伝統、青山同窓会の皆さんや県民の本校に対する大きな期待に対する責任を痛感いたしました。

生徒は学業だけでなく、部活動で北信越大会や全国大会で活躍してくれました。特に昨年度は女子のボート、フェンシング、弓道の３種目の県高校総体学校対抗成績の優勝で、女子の部としては初めての新潟県高等学校体育連盟のスポーツ年間最優秀校の栄誉に輝きました。夏の高校野球県大会ではベスト８になり、ハードオフエコスタジアムで、応援団や吹奏楽部の協力のもと、希望者による学校応援を実施しました。残念ながら敗れましたが、多くの青山同窓会の皆様にも応援に駆けつけていただきました。この場を借りて御礼申し上げます。秋季大会もベスト８となり、同窓会からは、全国大会や世界大会へ出場し活躍を続ける現役生を支援するため、「がんばれ青山応援募金委員会」を設置していただき、「がんばれ青山」の口座も開設していただきました。今後、多くの部活動が全国大会で活躍できるようになるのではないかと期待をしております。

青山同窓会の皆様には、これまで同様、引き続き、新潟高校へのご指導、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

最後になりますが、青山同窓会の今後ますますのご発展と会員の皆様方のご健勝を祈念し、最後の挨拶とさせていただきます。たいへんありがとうございました。

ＰＴＡ会長あいさつ

畑野　裕之（94回）'86卒

令和元年度ＰＴＡ会長を拝命しました94回卒業の畑野裕之と申します。新たな時代でのＰＴＡ活動の一年を精一杯務めさせて頂きます。よろしくお願い致します。

私が卒業した昭和61年３月は、ついに前々時代の出来事となりました。昨年１年間本校を訪れましたが、変わったものが多くあります。校舎すべて、電子黒板の導入、閉店した近くの食堂、男女ほぼ同数、女子の制服等々。それでも青陵健児の像、応援歌練習、青陵祭、青山祭、「真理追究、自主自律、社会貢献」の教育目標は変わりません。丈夫精神を続けることは困難も伴いますが大事なことです。

昨年３千万人超の訪日外国人が来ています。更に今年は外国人労働者が解禁となり益々異文化交流が盛んになります。日本は人口減少していますが世界人口は増えていますのでこれは自然な流れと考えています。一方私の高校卒業当時は、一般の日本人が海外渡航して外国人と交流を始めた時代でした。私自身大学時代にバイト代で東南アジアや米国へ旅行し、社会人では中国に駐在経験があります。今でも自己主張する外国人と渡り合う中、自分のアイデンティティを示す大きな支柱となったのは「丈夫精神」でした。

ＰＴＡとしては時代が変わっても子供たちの「丈夫精神」を養う環境づくりをする先生方との信頼作りを築ければと思います。同窓会の皆様のご協力を重ねてお願いいたしましてあいさつといたします。

がんばれ青山 ～応援募金についてご案内～

青山同窓会会長　敦井　榮一

日頃は同窓会活動にご理解・ご協力を賜りありがとうございます。

全国大会や世界大会へ出場し活躍を続ける現役生を支援するため、募金口座を開設しました。前号の会報でご案内をさせていただいところ、早速、ご寄付を頂戴しましたことをご報告し、篤くお礼申し上げます。引き続き、「がんばれ青山」へのご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

■第四銀行
本店営業部　普通口座　5054323　がんばれ青山

■ゆうちょ銀行
00510-4-52617　がんばれ青山

○お取引明細表が領収証となります。
○お名前に併せて卒回もご記入ください。
・第四銀行様ATM画面では「御依頼人指定」にて操作できます。
・ゆうちょ銀行様ATM画面では金額入力後の「ご確認ください」の画面で操作できます。「口座名義で送金します」で「いいえ」を選び、手入力で下記のようにご入力をお願いします。
・ご自身のお名前の前に卒回の数字のみを入力ください。（カイソツ、ネンカイ等の文字は必要ありません。）
例）全日制の方の場合　00アオヤマタロウ
　　通信制の方の場合　ツ00アオヤマケンジ

がんばれ青山収支報告

（自 平成31年 1月 1日　至 平成31年 3月31日）

（単位：円）

科　目		当年度発生額	主な内訳
	寄付金	1,103,000	
収入合計		1,103,000	
支出合計		0	
収支差額		1,103,000	
前期繰越金		－	
次期繰越金		1,103,000	

新潟県立新潟高等学校 創立百二十周年記念事業収支報告

（自 平成30年４月１日　至 平成31年３月31日）

（単位：円）

科　目		当年度発生額	主な内訳
	雑収入	28	預金利子
収入合計		28	
	備品費	438,480	電子黒板ユニット７台修理代
支出合計		438,480	
収支差額		△ 438,452	
前期繰越金		3,416,585	
次期繰越金		2,978,133	

東北青山同窓会　第９回総会

日　時　令和元年９月７日（土）16 時～
会　場　仙台市 江陽グランドホテル

詳細は、決まりましたらフェイスブックグループページ、ダイレクトメール等でお知らせいたします。

お問い合わせは次のメールアドレスまでお願いいたします。tohokuaoyama@gmail.com

青山同窓会
令和２年新年会のお知らせ

来年の新年会は
令和２年２月14日（金）
を予定しております。

詳細は次号会報に掲載いたします。

同窓会費納入についてのお願い

平成31年４月より、ゆうちょ銀行の振込手数料が値上げされました。同窓会会計への負担増が大きいため、同窓生皆様に手数料ご負担のご協力をお願いいたします。今年度より赤インク印刷の振込用紙（同窓会負担）を、青インク印刷の振込用紙（納入者負担）に変更いたしました。ご理解・ご協力をお願い申し上げます。ご不明な点は事務局までお問い合わせください。

年 会 費

１口　1,000円

できるだけ２口以上でお願いいたします。

納入方法

１．郵便振替口座

00650-7-4455　青山同窓会

・総会会費の郵便振替用紙とお間違いのないようご注意ください。

・郵便振替の受領証が年会費領収証となります。

２．銀行口座

第四銀行　白山支店

普通　5008609　青山同窓会年会費

・お取引明細表が年会費領収証となります。

■各振込手数料は下記のとおりです。（令和元年５月現在）

（ゆうちょ銀行は5万円、第四銀行・北越銀行は3万円未満の手数料です）

・ゆうちょ銀行口座をお持ちの方

ネットバンキング月５回無料

ATM月１回無料（ATMで振込用紙を使用されますと有料となりますので、使用しないでください。）

・ゆうちょ銀行　ATM 150円　窓口 200円

・第四銀行及び北越銀行　ATM 108円

・第四銀行（白山支店）窓口 216円

・第四銀行（白山支店以外）及び北越銀行　窓口 324円

・北越銀行には口座がございません。

■ATMでお振込みをされる方へ

・お名前に併せて卒回もご記入ください。

・第四銀行様ATM画面では「御依頼人指定」にて操作できます。

・ゆうちょ銀行様ATM画面では金額入力後の「ご確認ください」の画面で操作できます。「口座名義で送金します」で「いいえ」を選び、手入力で下記のようにご入力をお願いします。

・ご自身のお名前の前に卒回の数字のみを入力ください。（カイソツ、ネンカイ等の文字は必要ありません。）

例）全日制の方の場合　00アオヤマタロウ

通信制の方の場合　ツ00アオヤマケンジ

★ 青山同窓会の書籍等のご案内 ★

創立百二十周年記念事業の一環として作成しました書籍等を、ご希望の同窓の皆様にお分けいたしております。また、校歌・応援歌を収めたCDもございます。

ご希望の方は同窓会事務局までご連絡ください。

『青山百二十年史』書籍（CD-ROM付き）	10,000円
創立百二十周年記念式典DVD	2,500円
『青山同窓会　百二十周年名簿』	5,000円
校歌・応援歌CD	1,000円

※すべて送料込み振込手数料別途

青山同窓会 事務局からのご案内

場　　所　新潟高校２階（アリーナへ続く廊下）

在室時間　月～金曜日

（祝日・入学試験期間等を除く）

午前10時30分から午後3時30分まで

（業務内容によっては留守になることもあります。）

TEL/FAX　025-266-5268

E-mail　niigata_aoyama@yahoo.co.jp

（niigata_aoyama@ybb.ne.jp は使用不可になります。）

お気軽にお問い合わせください。

同窓生訪問

寺島雅範さん（63回）'55卒 をお迎えして

会報編集委員　髙橋　彩子（104回）'96卒
吉沢　優美（通46回）'04卒

令和元年5月16日、寺島雅範さんを新潟高校にお迎えしました。寺島さんは今年83歳、現役の医師としてご活躍中です。新潟大学病院、がんセンター新潟病院でお勤めの後、佐渡の相川病院へ院長として赴任。院長をお辞めになられてからも月2回の外来診療を続けていらっしゃいます。また、県労働衛生医学協会でも週4日検診をご担当されています。

―佐渡出身。新潟高校から新潟大学医学部へ。

「弥彦山のちょうど真向かい、新潟に面した海岸線の真ん中の辺りの生まれです。中学3年の時に新潟に来たんですよ。それから新潟高校へ。

最初東北大学の法学部を目指したんです。小学3年生の時に父が戦死してましたから、家の近くの新潟大学の方がいいかな、と。ちょっと考え直して医学部へ。」

―相川病院へ院長として赴任。

「専門は外科。大学では心臓外科、がんセンターでは肺の方の胸部外科でしたね。相川病院では整形外科の患者が多かった。

相川病院へは熱心なお誘いがあったわけです。医者が足りないということもあったでしょうね。

院長時代は佐渡に住んでました。佐渡はいろいろ面白い人がたくさんいます。だから、楽しかったですよ。」

―現在も月2回佐渡で診療。

「日帰りですよ。冬は帰れないことも。行きは朝一番のカーフェリー。荒れてもだいたい出るからね。

医者の数がいないと病院が成り立たないんです。遠くまで通えない方もいる。相川に医者がいないと患者さんは困るわけです。」

―医師という仕事。在校生へ。

「医者という仕事は面白いですよ。大変だけど、楽じゃない楽しさもある。

相手は人間ですから。医術だけじゃなくて、相手の立場になってね。

それに、いろいろの場面においてね、自分が最終判断するわけ。そういうものをきちっとしていく。医者が偉いとかじゃなくて、リーダーシップがきちんと取れてるチームの医療っていうのはいいもんになるわけでしょ。

新潟でも医師は不足しています。青陵健児のみなさん、ぜひ医学部を目指してください！」

明るいお声の寺島さん、気さくにユーモアを交えながらも、びしっと筋の通った医師としての責任感を感じました。貴重なお話をどうもありがとうございました。

また、寺島さんの2冊の随筆集『百日紅』『女神山』を新潟高校図書館にご寄贈いただきましたのでお知らせいたします。

（髙橋記）

同期会報告

56回生の動き

江口　直禎（56回）'48卒

私どもは旧制中学校の最後であり、新制高校の最初の卒業と言う制度の変り目に出会った学年である。第二次世界大戦中に在学し、3年時、1学期は学徒動員で軍需工場で働かされた。今の東山の下小学校の所にあった石井精密工業の工場で魚雷の安定器を作っていた。毎日、8kmの道を歩いて往復したものだ。今丁度88歳、昨年4月米寿を祝って7人集りお祝いをした。その中の1人が2月5日に亡くなった。坂井恒雄君である。（写真左から2番目）彼は大学を出ると奥さんと2人で自動車部品の総合商社を設立、県業界2位の規模に成長させた。急死が惜しまれる。

吾々同期300余名は毎年新潟で同期会をやっていたが7年前から東京と新潟に分かれて実施している。新潟では三水会と称し、毎月第3水曜日に10名内外が集まって実施している。関屋分水工事に際し、年度では桜の苗木を15本寄付した。最近までは毎年4月桜の咲いている頃、お昼に花見の会をやったものだ。時には仲間の遠藤昭五君が浜茶屋を開いていたので夕涼みをかね浜茶屋で三水会を実施したものである。もう90の声を聞くと毎月実施するのは困難で去年は1回に留まっている。

東京の方は銀座の交詢社などに集い、未亡人なども参加し、20人内外の出席者を集めている。

目下、県外居住者60名、県内居住者65名、死者179名、行

左から上田宏、坂井恒雄、藤田正英、笠原健一郎、上村幹雄、斉藤恒、江口直禎

卒業アルバム寄贈のお礼並びにお願い

青山同窓会会長　敦井　榮一

「卒業アルバムご寄贈のお願い」をしておりますところ、「73回卒業アルバム」を小野塚眞一様からご寄贈いただきました。

思い出の詰まった大切なものをご寄贈いただき、感謝申し上げます。同窓会にて大切に保管いたします。

大変ありがとうございました。

引き続きではありますが、下記の学年及び旧制中学の卒業アルバムをお持ちの方は同窓会にご寄贈を検討ください。

49回、50回、51回、52回、53回、54回、57回、64回、69回、71回、85回、95回、98回、99回、100回、101回

ご寄贈いただける方は、
青山同窓会事務局まで連絡お願いします。

TEL／FAX　025-266-5268
メール　niigata_aoyama@tahoo.co.jp

方不明者29名、生存率41・1％。
今年度、高齢者叙勲で元高校長、粕川正之、元中学校長、今城信敬、江口直禎、元小学校長、村川順三の４名が県内教員として勲章を受けている。他に長年の社会貢献で滝沢宇平が授章している由。

60回、夢像会の現況

60回幹事　金塚　尚（60回）'52卒

我々60回生は、古くから夢像会（有象無象に由来）と称し、隔月６日に懇親会（六例会）を開催しています。
事務次官・村長・議員等政界で、又財界で活躍した者、大學教授、開業医、銀行役員・支店長、弁護士・不動産鑑定士等の各種公的資格者等々、多士済々の我々も、年齢が高くなった為、以前に比べ参加者が少なくなっているものの、15名前後の同期生が集い、昔話に花を咲かせ、お互いの健康状況等を語り合っています。
また、首都圏でも同様の会合を持ち、新潟からも有志が参加して交流しています。
青山同窓会総会でも、一・二の出席者の多さを誇っていましたが、残念なことに徐々に減って来ていますが、これもやむを得ないことと思っています。
我々は、平成４年に母校創立百周年に合わせ、同期生のほぼ全員が執筆した千ページに近い、MUZO会記念誌「青山夢像館」を発刊いたしました。お世話になった多くの恩師からの寄稿や、恩師の思い出、各自の半生記等々内容豊かなものとなっています。
終戦間もない昭和21年春、旧制県立新潟中学校に、小学校から受験した最後の学年として入学した我々は、男子のみで女気は皆無でしたが、高校受験は免除されて新潟高等学校に進学し、６年間母校にお世話になりました。
上皇（前天皇）と同年輩の我々は、高齢化して物故者も増えて来ておりますが、まだまだ元気に六例会を楽しみにしています。

まだ続く68会展

池主　憲夫（68回）'60卒

平成16年に発足した68回卒の作品展（68会展）は、メンバーの喜寿をクリアし、令和となった今年も以下の日程での開催が決まりました。
多数のご来会を、お待ちしております。

「15回青山68会展」
会場　新潟市立美術館
日時
令和元年12月４日（水）（12時～16時）
５日（木）～８日（日）（10時～16時）

70回生東京同期会を開催

花輪　治（70回）'62卒

新元号令和元年５月15日（水）に、70回生の東京同期会が開催されました。会場は文京区湯島の東京ガーデンパレス。飯利先生がご病気のため前回同様恩師不在の同期会となりました。出席者は25名、うち女性が５名でした。昭和に生まれ、新潟高校に学び、平成の時代に仕事から解放され自適の暮らしの令和と３代を過ごしてきた70回生も後期高齢者に分類される75、76歳に達しております。
首都圏在住者を対象に昭和58年に第１回を開催以来17回目となりました。今回は新潟から２名出席していただきました。
開始時刻は年齢を考慮して足許が明るい午後零時。まずは記念撮影。クラス別と全員ですが、今回は２クラス合同というケースも出てきました。
新潟から駆けつけてくれた斎藤忠正さんによる乾杯の音頭で開宴となりました。楕円形のテーブルに全員着席、夫々の顔が見える近さです。
メインディッシュからデザートに移る頃から出席者全員の近況報告に移りました。冒頭は難波晃さん、お得意の吟詠ですが今回は杜牧の「江南春絶句」。渡辺秀英先生の講義を思い出す事ができました。

東京ガーデンパレスの会場はゆっくり過ごせるよう正午から午後３時まで確保していたもののスピーチ最後の笠原大仙さんにたどり着いたのは３時まであと５分足らずの時。
毎回新潟から参加してもらっている笠原さん、ご自分のスピーチは申し訳ないことに手短にまとめていただき、そのまま恒例の「丈夫」の音頭を引き受けてもらいました。声高らかな大合唱、最後の「青山！」で３時を少し回っておりました。
どこまでも賑やかで昔と変わらぬ元気な声が絶えない会場でした。
名残は尽きないまま２年後の再会を期して散会となりました。
（幹事＝加藤邦紘、金子正史、花輪治）
引きつづいて24名のスピーチ、皆様全員が体は丈夫、話は絶好調、長い人生の経験や研究成果にユーモアを交えながら時間を気にせず心行くまで？話を続けました。

第117期３年２組クラス会を終えて

須貝　孝太郎（117回）'09卒

「クラス会をやろう」と、今回幹事を務めてくれた青木涼馬君から連絡を頂いた時は驚いた。彼自身新潟を離れている中で、よくもまあ先陣切って提案してくれたものだ。当時の恩師お二方もお越し下さるという。思い返せば在学中も卒業後も、

およそ企画やイベントといった類のものは常に彼が先頭かつ中心に立って進めてくれていた。その行動力には唯々頭が下がるばかりである。この場を借りて改めて感謝申し上げたい。

さて。同窓会当日、少し早めに会場前に到着した私の胸中は、期待と緊張とで混沌の相を呈していた。卒業から10年。皆がどうなっているのか想像もつかない。「ええい、ままよ」と中に入ると、既に10人以上の同級生達が集まっている。

結論から言えば、今回のクラス会は本当に、本当に素晴らしいものだった。

吉田先生、児玉先生、クラスの皆。旧3年2組の面々は、あの頃と何一つ変わらない笑顔で10年振りの再会を果たしていた。先生のご発声による乾杯に始まり、近況報告では昔からの夢を叶えた人、意外な進路を辿っていた人……様々な話を聞くことが出来た。それぞれの道を進んでも、こうして変わらず語り合える気安さの何と有り難いことか。約2時間の一次会だけではとても間に合わず、河岸を変えて延長戦へ。時間の許す限り、この貴重な再会を喜び祝した。

次に会えるのがいつになるかは分からない。5年後かもしれない。3年後かもしれない。近々またクラス会をやろうとなるかもしれないし、もしかしたら次の連休辺り旅先でばったり遭遇するかもしれない。そもそもイマドキは直接会わずとも、お互いの様子を知る手段なんていくらでもあるだろう。それでも今回、卒業から10年というこの節目に、皆が一堂に会し、思い出をひとつずつ手に取って、大切に懐かしむ機会を得られたこと。それを本当に嬉しく思う。

最後に、皆様の次の10年における益々のご健勝とご多幸を心より祈願し、クラス会のご報告に代えさせて頂く。

「通信制閉課程」に寄せて

勝島　テル子（通19回）'77卒

爽やかなこの季節に「令和」の時代を迎えました。みなさま、お元気でいらっしゃいますか。「通信制閉課程」から13年も過ぎました。

「新潟高等学校通信教育部」は、昭和23年4月に発足され、58年間、卒業生の総数５０６４名もの多くを送り出し、平成18年3月をもって閉課程となりました。

その前年、平成17年11月12日「閉課程記念式典」が学校で行われ、その後、前庭に、校歌の一節、「百里流れて」と刻まれた記念碑の除幕式がありました。

その後、3・4年過ぎた頃、「みんなで集りたいね。」という声があがり、27回の岡田忠雄さん、37回の笹川薫さん、等の骨折りで、第一回の「恩師を囲む会」が開かれる事になりました。嬉しい事に、予想以上、多くの出席希望者で、急遽、広い会場に変更するほどでした。以後2年おきくらいに恩師をまじえて、１００名前後の出席で、楽しい会が開かれています。私はなかなか、お手伝いできずにいますが、せめて当日の受付け係で、古い顔を役立てています。今まで世話していてくださった理事の方で、体調をくずしていられると聞き、心配しておりましたが、この度、若い新しい理事が参加されました。有難うございました。

さて、みなさまご存じのように、「青山同窓会総会」が、毎年7月に開かれています。５００名ちかくの会員が顔を見せます。わが「通信制」の席も用意されています。かつては、テーブル2つ、20名ほども集りましたが、近頃はやっと1つです。働きながら共に学び、語り合った仲間達に、ぜひ、誇りをもって、この総会に出席してほしいと願っています。そして一緒に「丈夫」を歌いましょう。私はまだ現役で働いています。「通信制」のおかげで、今も、心豊かに、生きています。

OB会報告

サッカー部70周年記念行事のご報告

福澤　ゆかり（115回）'07卒

１９４８（昭和23）年に県内2校目のサッカー部として創部してから70周年を迎え、２０１９（平成31）年1月5日に新潟市のホテルイタリア軒で記念講演会及び記念祝賀会を開きました。

創部当初を知る先輩方も少なくなっています。役員会では今回、〝生き証人〟がいるうちに部の歴史を記録に残すことを目標にしました。人手や時間が限られる中で至らない点も多々ありましたが、出席者にはインタビュー動画やＰＤＦ文書入りの記念ＤＶＤを配ることができました。ＤＶＤに出演いただいた現役やＯＢの皆さん、顧問の先生方には、深く御礼申し上げます。

当日は歴代顧問の先生４人を含む約70人のＯＢが集まりました。講演会は「サッカーで学んだこと、挑戦者たれ」と題し、アルビレックス新潟の元強化部長で世代別日本代表コーチも務めた木村康彦さん（94回）が、ユース世代の強化の現状や日本代表の興味深い裏話を語ってくださいました。現役部員も聴講し、ＯＢ会から現役に記念品として応援横断幕とテントを贈呈しました。横断幕がテレビ中継で映る日が来ることを期待します。

続く祝賀会では、フリーアナウンサー韮沢（松村）道子さん

（105回）による司会進行の下、歴史動画の披露や世代別の思い出マイクリレーなどもあり、大いに盛り上がりました。思い出を語り草に、世代間交流もできたと思います。最後は宮下直毅さん（102回）と和田憲明さん（104回）の音頭による丈夫斉唱で締めました。

サッカー部は過去に周年誌等を作っていません。今回は一から情報を集め、エピソードや写真の提供を呼び掛け、関係者に聞き取りをした内容をまとめました。骨の折れる作業でしたが、正月返上で編集に当たった小山直久さん（95回）のおかげで立派なＤＶＤが完成しました。

次のステップとして、周年誌を作る計画が浮上しています。その際にはさらに多くのＯＢが関わる事業にしたいですし、優秀な若手のお力添えにも期待しています。

ボート部ＯＢ会 青山艇友会定時総会開催

幹事長　神林　正浩（89回）'81卒

青山艇友会は平成31年3月16日（土）、新潟市内の柳江苑で定時総会を開催いたしました。県ボート協会馬場伸行会長を来賓にお迎えし、顧問の先生、コーチにＯＢを加え総勢14名の出席でした。平成31年度事業・予算案等を承認し、役員改選では渡辺研二会長・櫻井優副会長を再任し、新たに井上聡副会長を選任しました。井上副会長は「東京在住なので、東京の青山艇友会ＯＢの方々との繋ぎ役になりたい」と抱負を述べました。また、ボート部の念願であった新艇購入が具体化したことを受けて、特別活動事業として購入資金援助の浄財を募ることとしました。

【総会】全員で記念写真

近況報告では、地元ＴＶ局が高校生の部活動を応援するシリーズ企画のなかで本校ボート部を選定。総会当日は、春分の日からの乗艇練習開始に備えて艇庫での活動・ボート点検などの様子を撮影に来ていました。春季大会まで取材するようですと報告されました。出席者一同は現役部員のひたむきな姿勢が今後放送され、ボート競技への関心が高まる期待に胸を膨らませました。

▼出席者14名

（県ボート協会会長）馬場伸行、（顧問・102）長谷川聡、（コーチ）山口健太郎、（68）笠原紘洋、（75）渡辺研二、（78）水沼眞一、（80）櫻井優、（80）佐藤正昭、（80）扇嘉明、（81）三膳正伸、（89）井上聡、（89）神林正浩、（90）風間恭哲、（119）紫竹貴司

■活動報告等

▽ＯＢ現役懇親会（昼食会）を平成30年7月22日（日）に実施。女子舵手つきクォドルプルのインターハイ出場壮行会も兼ねました。ＯＢ・顧問・コーチ・高校生総勢35名出席。

▽青山艇友会報第40号を8月25日に発行。顧問の先生からの現役部員の活動報告やＯＢからの青春の思い出「母校で乗艇に感謝」といった寄稿などを掲載しております。

▽ホームページには伝統の資料・写真とともに現役・ＯＢの旬の情報が満載です。「青山艇友会」で検索してご覧いただけます。

剣道部ＯＢ会 平成30年度の活動報告

青山剣友会　事務局代表　滝沢　俊一（104回）'96卒

総会

平成30年8月11日、平成30年度総会が新潟市の白山会館で開催されました。

議題は平成29年度決算報告と役員改選です。

平成29年度会計報告では、会計係の渡部恵太朗氏（112回）から決算報告があり、監査報告の後承認されました。続く任期満了による役員改選では、引き続き会長に吉田至夫氏、副会長に荻荘則幸氏（83回）と町田一越氏（95回）が再選されました。

総会後はご来賓の五十嵐安夫氏から『新潟の剣道先人語る』という演目で講演をいただきました。

講演会では、戦後剣道ができなくなった話や時代の変化によって剣術から撃剣、そして剣道へと名前が変化してきたということや、青山の先輩でもある平石恒夫氏が集団指導としては初となるアメリカ遠征メンバーであったこと等、新潟出身の先人の功績について非常に勉強になる内容でありました。

その後の懇親会では、幅広い世代間での交流の場となりました。

最後に、剣友会応援団長の宗村信明氏（88回）の応援指導で様々な応援歌のご披露と、丈夫の斉唱が行われ、副会長の町田一越氏のごあいさつにより盛会のうちに締めとなりました。また、同日午前中、ＯＢ・母校現役剣道部員による合同稽古が新潟高校剣道場で行われ、総勢53名による気合の入った稽古が繰り広げられました。

新年会

平成31年1月2日、平成31年新年会が新潟市のイタリア軒にて開催され、29名の会員が集い、和やかに新年をお祝いしました。

同日午前中に母校新道場で行われた新年初稽古会は、多くの参加をいただき、総勢65名の現役生・ＯＢが寒い中、気合いと熱のこもった稽古が行われました。

母校剣道部とＯＢの合同稽古会

毎月1回、新潟高校剣道場にて現役生・ＯＢを始め一般の参加で実施しております。

青山レスリング部ＯＢ会開催

山際　克巳（80回）'72卒

例年通り本会を心待ちするＯＢ会員の皆様の親睦と結束を図るＯＢ会が今年も３月２日（土）新潟駅前「日本海庄やガレッソ」にて、遠路県外からご参加頂いた４名を含め、総勢18名で盛会に開催されました。

開会に当り、体調不良でご欠席の飯塚会長に代わり加藤副会長（62回）からご挨拶頂き、ＯＢ会を更に継続、盛り上げていく為に世代交代を意識すべきとのお話を頂きました。

続いて梅田幹事長から本ＯＢ会の趣旨・目的・意義等のご説明がありました。42年振りで新潟に戻り、初参加の私にとっては廃部の事実は大きな驚きでした。ＯＢ会員の増加が見込めない現状を認識すると同時にこの会を盛り上げてきて頂いた諸先輩の皆様に感謝の気持ちで一杯です。

その後、参加者の自己紹介と近況報告、現役時代の思い出話等が披露され、皆が拍手喝采と和気藹々に楽しい時間が過ごせました。

阿部大先輩（63回）からレスリング王国新潟、その中で母校レスリング部の黄金時代を生きた誇りとその熱き想いのお話がありました。こうした想いを後輩に語り継げるという意味でもＯＢ会の存在は重要だと思います。様々な思い出話が出ましたが「紅顔可憐の若人」が新潟の美酒でほんのり「赤顔の若人?」に戻り、往時が偲ばれました。私の思い出は厳しい夏合宿のスパーリングと恒例となった合宿最終日の弥彦登山です。道場で仮眠し、夜中歩いて弥彦神社到着、休憩後一挙に弥彦山を登り、山頂で日本海に向い「ますらお」「玲瓏の天」等応援歌を合唱、快い疲労感と清々しさを感じていました。

ＯＢ会も宴たけなわの中、誰いうともなく全員起立し我らが青春の詩「ますらお」の大合唱でお開きとなりました。

初めてのＯＢ会でしたが有意義に過ごすことができました。ＯＢの皆様「部復活を目指し」、是非誘い合って一人でも多く集い、このＯＢ会を盛り上げていきましょう。

青山墨友会　春の活動報告

小川　和恵（101回）'93卒

平成31年４月27日～28日に現役書道部の春季校内合宿がありました。新１年生に久々の男子部員３名を含む12名を迎え、顧問の小川貴史先生の指導のもと書道部は40名の大所帯です。

墨友会から、田中千尋さん（127回）、佐藤有紀さん（127回）、伊豆名ひろみさん（113回）、小川和恵（101回）が、それぞれ部分的にではありますが、合宿に参加しました。

27日の午後からは、副顧問の品田千文先生といっしょに、卒業生が４升のご飯を炊き、50人分のレシピに沿って夕食のカレーを作りました。かぶときゅうりの浅漬け、ゆで卵の醤油漬け、フルーツポンチを添えて、18時には無事そろっていただくことができました。現役部員の礼儀正しく気の利いた動きに助けられ、片付けまできちんと終えられました。

快く炊飯器を８台も貸してくださった家庭科の小川浩子先生にもこの場を借りて御礼申し上げます。

両日に渡り、実技指導の助手としても入りましたが、部員たちはよく集中して筆を持ち、かなり高度な技術的要求にもこたえてくれました。特に、現３年生は心技ともに立派で、作品に対する姿勢、下級生とともに部を盛り立てようとする様子を嬉しく拝見しました。皆さんの更なる今後の成長、活躍を期待してやみません。

今年度は青山墨友会として、會津八一記念館の見学や懇親会を予定しています。なつかしい会員の参加をお待ちしています。

平成から令和の新時代へ 青山バスケットボールクラブ

和澄　孝男（83回）'75卒

「平成最後の…」や「令和最初の…」のフレーズの中で新時代をめでたく迎えた。異論もあったようだが、生前に退位をして次世代へ移譲するやり方もなかなか良い。何と言っても、めでたさ満載の雰囲気の中、国民皆で祝うことができるのは理屈なしに嬉しいものである。歌舞音曲を控えて平成の時代を迎えた先回の経験とは全く異なるものであった。上皇の生前退位のご決断とご提案に感謝申し上げたい。

当ＯＢ会も、例年通り１月３日に「平成最後のＯＢ会」を開催した。本校において現役との交流試合などを交えた後、近くの会場で現役諸君同席の総会を開催した。今年も全国各地で活躍しているＯＢ達がこの会に集い、酒を酌み交わしながら談笑し愉しい時を過ごした。果して、新たな令和の時代はどんな時代になるのだろうか。

当面は、少子高齢化社会は現実の流れとして否定できない。外国人との共生は一層求められることであろう。そして、今後も技術革新はとどまることなく進化し、人は限りなくその豊かさを貪欲に求め続けていくのであろう。何よりも、若者が活躍する活力ある社会であってほしいと願うばかりである。

時代のうつろいに立ち会った今、あらためて後輩たちに託す想いを意識させられた。

「この青山に学んだ誇りを忘れず、青山の伝統を次代へ着実に伝えていってもらいたい。」

青山ソフトテニスクラブOB会報告

関川　貴大（119回）'11卒

「青山ソフトテニスクラブ」はソフトテニス部の卒業生で構成され、現役生の支援やOB・OG同士の交流を中心として活動しています。

毎年8月14日に総会と同時開催されるのが、「ソフトテニスを楽しむ会」です。新潟高校のテニスコートをお借りし、新潟県内はもちろん、全国各地から集まったOB・OGに現役生も交えた交流試合が開催されます。

平成30年度も、多くの方が本会に駆け付けてくれました。交流試合とはいえ、勝負は真剣そのもので、会心のショットに喜び、ミスをすれば悔しがり、試合の結果に一喜一憂するのは現役時代と変わりません。忙しい合間を縫って、数年ぶりに参加される方もいらっしゃいますが、何球か打つだけで当時の感覚を取り戻す方が多く、高校時代に鍛え上げられた「心・技・体」は、数年間のブランクがあっても衰えないものであると感じました（「体」の方は限界があるかもしれませんが…）。

試合の時間以外も、参加者同士で当時を思い出したり、現在の生活や仕事について語り合ったりしている様子を見ると、「そこに行けば懐かしい顔に会える」場所として歴史が積み重ねられてきたことを実感します。現役生にとっても、定石を無視して、トリッキーかつのびのびとしたソフトテニスを展開する我々のプレーやアドバイスが、多少なりとも参考になっているようです。

夜は懇親会が開催されます。やはり同じ場所で同じ経験をした同士、高校時代の思い出話が多いように思います。世代は違っても、通じ合う所があるというのは非常に不思議な感覚です。

なお、OB会の開催にあたっては、コートの整備を中心に現役の生徒・先生方のご協力を頂いています。毎年、本会のために朝早くから準備していただき本当にありがとうございます。また、運営に携わって来られた先輩諸氏にも、この場を借りてお礼申し上げます。今後も、幅広い世代が気軽に集まれるこの素晴らしい会を続けていきます。

フェンシング部OB懇親会報告

石原　基規（88回）'80卒

令和元年5月11日、1年半ぶりにフェンシング部OB懇親会を、恒例の古町安兵衛で開催しました。61期の小畑さんから91期の八木君まで19人が集まり、小畑さんの乾杯の音頭で懇親会を開始しました。

今回75回卒の斎藤謙二さんに久しぶりにおいで頂いたことと、同じく75回卒の駒村利晴さんがわざわざ東京からおいでくださいました。また私の1級下でのちにキャプテンを務めた89回卒の高橋芳弘君が同期の佐々木裕道君と参加してくれました。高橋君は東京に就職して、長いこと連絡先が不明となっていましたが、今般ご実家の都合で新潟にUターンしたということです。

高橋君とは高校、大学と一緒にフェンシングをしましたが、本当に素晴らしいフェンサーでした。スピードがあって力強く技も切れる。団体戦で味方にしたらこれ程頼もしい相棒はおらず、個人戦で敵に回したら、本当に嫌な相手でした。残念ながら勝ち運のいいほうでなく、（僕はよく勝ち運だけだと揶揄されましたが）大きな大会勝ち進むことはできませんでしたが、当時実力的には間違いなく北陸No.1だと思っていました。彼と再会して切磋琢磨した時代を懐かしく思い出しました。

来年はオリンピックイヤーですが、私たちが現役時代の超マイナースポーツだった時とは違って、随分華やかになりました。しかも前回、前々回のオリンピックでメダルを取った種目のフルーレだけでなく、今まで日本人が得意でなかった種目のエペまでメダルの期待がかかっています。楽しみに観戦したいと思っています。

同好会報告

青山ゴルフ会報告

青山ゴルフ会事務局　品田　泰（101回）'93卒

令和最初となる青山ゴルフ会が、5月18日・紫雲ゴルフ倶楽部で開催されました。47回目となる今回は、21名の校友が参加。最年長は61回、一番の若手は111回卒。実に50歳差の校友が世代を超えて昼に夜に親交を深めました。

当日は気温が25度を越える夏日でしたが、時折吹く風は優し

くヒンヤリとして本当に心地よく、スコアはさておき、大袈裟ですが生きている幸せを実感できる1日でした。

そんな中、栄えある令和初の個人優勝者は88回櫻井弘美先輩。スタート数ホールこそ苦戦しましたが、徐々に本来の調子を取り戻し定位置へ。46・48とスコアをまとめ、並みいる男性猛者を退けての優勝でした。準優勝は79回江花和郎先輩。惜しくもネットでO・2及ばず、昨秋に続く連覇とはなりませんでした。ベストグロス賞は69回鈴木将夫先輩の92（45・47）。それに続くは61回佐々木繁先輩・69回大谷勝美先輩の94。夜の懇親会含め、諸先輩方の元気さには本当に敬服いたします！

さて、今回は新たな試みとして、同窓の方々より自社商品のご提供を頂きました。参加者からは「県高のOBのお店と聞いて親近感が増す」「同窓の絆が深まる」と好評でした。本間組さん、イタリア軒さん、名在門さん、安兵衛さん、山田醸造さん、大橋屋さん、この場を借りて御礼申し上げます。

また表彰式にはソプラノ歌手・105回今井あいさんが特別参加。プロの歌手と一緒に校歌を歌う贅沢な演出もありました。

このように事務局では試行錯誤しながら、会を盛り上げるべく頑張っております。第49回青山ゴルフ会は、9月29日開催予定です。コンペの重なる時期とは思いますが、お誘い合わせの上、是非ご参加をお待ちしております！また賞品のご提供を頂ける方も是非宜しくお願いいたします。

事務局：BSN新潟放送内
品田・三浦O25―267―4111

青山烏鷺の会 令和元年度ご案内

齋藤　繁夫（77回）'69卒

名称　青山烏鷺（うろ）の会

青山同窓生と在校生（特に囲碁部員大歓迎。部員でなくても構いません）、現・旧職員とで、年に2回、囲碁を楽しむ会です。

元県名人といった高段者から10級まで様々な力量の会員がそろっています。

会員の推薦により、前述の会員条件に該当しない方も入会できます。後述の事務局まで、ご連絡ご相談ください。

入会費・年会費無料です。

会長　長谷川義明　前同窓会長

会員数　現在37人　**会員募集中**

今年度例会

前期　令和元年8月10日（土）

後期　令和2年2月15日（土）

会場　じょいあす新潟会館（中央区幸西3ー3ー1）

会費と日程

烏鷺の会　昼食付き2千円（在校生は千円）

10時～15時半　4局対局

＊　順位に応じて対局者全員にもれなく日本棋院グッズ（棋士揮毫扇子・採譜用紙・日本棋院2色ボールペン・詰め碁の小冊子など）を差し上げます。

懇親会　飲み放題4千円

15時半～17時半

＊　片方のみ（烏鷺の会だけ、懇親会だけ）の参加も可能です。

平成30年度成績上位者

前期　30年8月25日（土）

【青山の部】

優勝　中野　祥孝（102回生）
準優勝　佐藤　彬（71回生）
3位　中野　三義（65回生）

【青陵の部】

優勝　田原　誠一（旧職員）
準優勝　阿部　浩治（旧職員）
3位　西脇　友哉（101回生）

後期　31年2月9日（土）

【青山の部】

優勝　齋藤　繁夫（77回生）
準優勝　磯貝　四郎（旧職員）
3位　小林　啓志（66回生）

【青陵の部】

優勝　山田　栄（69回生）
準優勝　江花　和郎（79回生）
3位　馬場　照惠（70回生）

連絡先

O25（386）1560
電話・FAX共用
青山烏鷺の会事務局
齋藤繁夫（旧職員・77回生）

入会ご希望の方は事務局までご連絡ください。

母校は今

平成31年度入試結果

進路指導部長　稲又　晋矢（99回）'91卒

＜平成31年度入試概況＞

平成31年度のセンター試験の志願者数は576,830人となり、前年より5,841人減少しました。しかし既卒生は2,734人増加して全受験生の20％を占めており、大学全入時代の昨今であっても理想を高く持ち自分の希望する進路を貫きたいと考える「難関大志向」を持つ生徒も多いことを裏付けています。

系統別志願状況を見てみますと、平成30年度入試まで顕著に見られた文系学部の人気が高い「文高理低」は継続したものの、経済学系統などの人気がやや落ち着きを見せたのが特徴です。平成31年度ではAIの進化による情報系統の学部学科の人気およびグローバル化による国際系統の人気が高い傾向になりました。

また、私立大学入試における「入学定員の厳格化」を文科省が進めている影響でここ数年都市部の私立大学は難化傾向でした。平成31年度入試でもその傾向が続きましたが、影響を大きく受ける大学は難関私大から日東駒専レベルへ移ってきています。また難関私大では単なる知識量ではなく深い理解をしているかが合否を分ける傾向になってきています。

国公立大学で特筆すべきは、新潟大で今年度より医学科で２段階選抜の実施および配点変更があったことと、その影響を受けて数学の出題傾向に大幅な変化があったことです。また、私立大学の入学定員厳格化の影響による追加合格が国公立大学でも多く発生しました。

＜平成31年３月卒業生の進学状況＞

「社会貢献」・「自主自律」・「真理追究」に沿って高い志を持ち将来にわたり活躍する人材の育成に努め進路指導を行いました。その結果平成31年３月卒業生は自己実現に向けて実直にとりくみ卒業へ向け人間的に大きく成長しました。

全体の進学率は64.6％で、好調な結果だった昨年度卒業生よりも2.7ポイント上昇しました。しかしながら生徒は安全志向というわけではなくより高い頂をめざしていた生徒が多かったように思います。

平成31年３月卒業生で難関大（東大、京大、一橋大、東工大、国公立大医学部医学科および旧帝大）の合格者は67名おり、全卒業生の19％を占めています。東京大の合格者は現役８名（既卒２名）で、内訳は文Ⅱ１名、文Ⅲ１名、理Ⅰ５名、理Ⅱ１名でした。その他の主な難関大の合格者は京都大現役４名（既卒２名）、一橋大現役３名、東工大現役４名（既卒２名）、東北大現役19名（既卒15名）、北大現役12名（既卒３名）となりました。

また国公立大医学科の現役合格者数は19名で、過去３年の推移でみると15→26→19名となっています。先述の通り新潟大医学科で大きな変更がなされたため本校も大きく影響を受けましたが、新潟大医学科の合格者は現役11名でした。

最初に書いた通り、全体的には生徒が高い意識を持って最後まで頑張ったことが奏功したと考えています。しかし思うような結果を残せず涙を呑んだ生徒もおり、その中には捲土重来を期し再挑戦すべく準備している生徒もいます。そのような生徒には「ますらお通信」を送って激励や情報提供を行いながら引き続き支援してまいります。

＜最後に＞

「文武両道」の伝統を堅持しつつ生徒の進路希望達成に向けて、今後とも生徒の学力や人間力の向上に努めてまいります。青山同窓会の皆様方からのご支援ご協力を引き続きよろしくお願いいたします。

主な大学合格者数（現役合格者延べ数）

主な国公立大学　合格者数

大学名	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
北海道大	13	9	14	6	7	10	7	12
旭川医科大	0		0	0	0	0	0	0
東北大	30	18	31	21	30	16	24	19
秋田大	4	2	4	1	2	3	3	3
山形大	3	6	1	2	4	2	4	3
筑波大	5	2	15	4	6	3	8	7
埼玉大	0	0	1	2	2	0	3	4
千葉大	4	7	8	5	7	5	5	5
東京大	8	8	12	7	11	3	11	8
東京外国語大	1	2	6	1	3	1	5	2
東京学芸大	2	5	4	2	3	0	3	8
東京工業大	1	3	0	1	1	3	1	4
東京農工大	2	1	2	1	2	1	1	2
お茶の水女子大	4	2	3	3	6	1	1	1
電気通信大	1			0	3		1	1
一橋大	3	2	3	2	2	5	2	3
横浜国立大	4	4	3	6	0	5	4	4
新潟大	59	53	53	55	55	49	52	53
富山大	4	4	4	1	4	3	4	3
金沢大	10	4	8	2	5	7	7	2
信州大	2	4	1	1	2	1	2	2
静岡大		0					0	1
名古屋大	0		1	2	2	0	1	0
京都大	2	3	7	4	3	4	6	4
大阪大	4	3	1	3	3	0	2	1
神戸大	0	0	1	1	0	1	0	2
九州大		0			0	1	1	
首都大東京	5	0	2	2	1	0	1	6
横浜市立大	1	1	0		2		1	0
新潟県立大	8	7	7	7	13	2	13	10
静岡県立大		0	0		0	0	0	
大阪府立大		0			1		0	
その他	11	13	16	13	14	12	23	9
合計	191	163	208	155	194	138	196	179

主な私立大学　合格者数

大学名	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年
早稲田大	34	25	28	18	16	23	13	16
慶應義塾大	11	10	10	7	9	11	15	9
明治大	31	32	37	35	18	26	26	22
立教大	7	12	13	8	12	12	11	10
法政大	12	15	26	12	26	20	13	19
青山学院大	10	8	17	7	9	9	8	1
学習院大	2	3	3	1	1	2	3	0
北里大	4	5	1	6	5	6	7	2
國學院大	2	2	1	2	2	3	4	4
国際基督教大	1	2	1	0	5	2	2	
駒沢大	9	2	7	3	3	1	4	3
自治医科大		1	1	0	0	1	3	0
上智大	5	9	6	12	8	9	5	6
成蹊大	2	4	6	0	1	1	5	1
成城大	2	2	1	1	2	0	2	
専修大	2	2	4	2	2	2	4	2
中央大	26	31	42	15	43	33	31	40
津田塾大	0	6	13	4	4	5	4	1
東海大	1	3		3	2	3	3	0
東京農業大	8	3	6	10	5	5	10	8
東京理科大	15	14	17	13	10	16	15	9
東京女子大	4	5	2	2	7		4	5
東邦大		3	1	1	2		1	
日本大	12	12	12	4	19	6	5	5
日本女子大	4	2	4	4	3	4	3	1
明治学院大	2	2	2	5	5	1	2	1
文教大	4	1	4	0	3	1	1	4
神奈川大		1	3	1	3	0	1	1
新潟薬科大	6	8	7	10	6	4	5	
同志社大	6	7	7	3	10	7	6	7
立命館大	23	9	12	13	14	13	12	8
関西学院大	1	0	2	0	2	1	0	1
その他	45	59	59	40	68	59	43	45
合計	291	300	355	242	325	286	271	231

＊空白は未受験、０は合格者０（ゼロ）

3週間の教育実習

教育実習生　田村　美和（123回）'15卒

社会科の教育実習生として３週間お世話になりました。授業の仕方や教育現場をあまり知らない未熟な私に、多くの先生方や生徒に助けられた、とても充実した３週間でした。

私は２年生の世界史の授業を担当させていただきましたが、想像以上に教えることは難しく、日々どうやったらうまく伝わるかを考えながら授業しました。担当教諭である品田先生はとても優しく相談に乗ってもらったり助言をいただいたりと本当に助けられました。私は高校時代、あまり勉強が得意ではない生徒でした。だからこそ、全ての生徒にわかりやすく教えたいと思いましたが、本当に難しいと実感しました。一人ひとりの理解力やスピードに合わせることは難しく、また早く進めすぎると生徒を置いて行ってしまう。私は生徒に発問を多く投げかけたり板書だけにならないように世界史の文化に関連して茶葉や貨幣を持って行ったりと努力しました。その結果、最初の週と比較して段々生徒の反応や理解も見られ、私自身も成長できたように思います。多くの先生方の授業も見させていただき、生徒を飽きさせないように発問を工夫したり世界史のエピソードを披露して生徒の興味を引き付けたりと本当に勉強になりました。

最後に３週間の教育実習を終えられたのは先生方の丁寧なご指導のおかげです。担当教諭の品田先生、校長先生をはじめとする教職員の皆様、お忙しいところ教育実習生を受け入れてくださり、本当にありがとうございました。

教育実習を振り返って

教育実習生　木口　愛梨（124回）'16卒

私は、養護の実習生として３週間の教育実習をさせていただきました。限られた時間ではありましたが、多くのことを学び、経験することのできた３週間でした。

養護教諭として、保健室では養護教諭の業務や役割について学び、それに加えてホームルームや保健体育科の授業への参加・実施など、多くのことを実践させていただきました。指導教諭の廣井先生をはじめ、教育実習担当の先生や、ホームルーム担任かつ保健体育科指導教諭の後藤先生には、実習がより充実したものになるようにと、実習内容についてたくさん考えてくださり、感謝してもしきれません。先生方のおかげで、私の学びはさらに深まり、実践力や対応力、そして教育観についてもさらに学ぶことができたと感じています。

養護教諭として一番必要だと感じたのは生徒を理解することです。そしてそのためには、生徒を取り巻く環境も理解することが必要であることを学びました。また、理解した次には、その生徒に適した対応を実践することが求められます。その対応は一種類ではなく、多くのかかわり方を身につけ、自分のものにしていかなければいけないとわかりました。

今回、充実した実習ができたのは、指導教諭の先生方、校長先生をはじめとする教職員の皆様のご指導、そして生徒の皆さんのおかげです。支えてくださった皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

＜令和元年度　新潟高等学校　県総体等結果報告＞

陸上競技
- 男子：400M　７位　大久保宥世
- 　４×400MR　２位　大久保宥世・齋藤　舜介・諸橋　駿矢・市川　真（北信越大会出場）
- 女子：1500M　６位　榎本　愛未（北信越大会出場）
- 　3000M　８位　榎本　愛未
- 　走幅跳　２位　稲川　暖乃（北信越大会出場）
- 　７種競技　６位　新保　歩

水泳
- 男子：200M自由形　５位　峯木　結宇（北信越大会出場）
- 　200M個人メドレー　６位　峯木　結宇（北信越大会出場）
- 　100M平泳ぎ　６位　古川　和樹（北信越大会出場）
- 　200M平泳ぎ　８位　古川　和樹（北信越大会出場）
- 　400Mリレー　７位　峯木　結宇・嶌嵜　勇人・古川　和樹・樋口　輝音（北信越大会出場）
- 　800Mリレー　７位　峯木　結宇・古川　和樹・嶌嵜　勇人・樋口　輝音（北信越大会出場）
- 　400Mメドレーリレー　８位　峯木　結宇・古川　和樹・嶌嵜　勇人・菊地　淳（北信越大会出場）
- 女子：800M自由形　２位　宮村　風花（北信越大会出場）
- 　400M自由形　２位　宮村　風花（北信越大会出場）
- 　100M平泳ぎ　４位　寺木　香央（北信越大会出場）
- 　200M平泳ぎ　５位　寺木　香央（北信越大会出場）
- 　400M個人メドレー　７位　岸田　芽生（北信越大会出場）
- 　400Mメドレーリレー　８位　宮村　風花・寺木　香央・岸田　芽生・春名美弘子（北信越大会出場）

バレーボール
- 男子：１回戦　新潟２（25－10　25－ 6）０長岡農業
- 　２回戦　新潟２（25－20　25－17）０新発田
- 　３回戦　新潟０（20－25　17－25）２関根学園　　ベスト16
- 女子：１回戦　新潟０（22－25　17－25）２小千谷

バスケットボール
- 男子：２回戦　新潟　77－　59柏崎工業　　３回戦　新潟70－61新津
- 　４回戦　新潟　47－128帝京長岡（ベスト16）
- 女子：１回戦　新潟107－　29見附　　２回戦　新潟56－99清心女子

ソフトテニス
- 男子：団体　１回戦　新潟３－０長岡工　　２回戦　新潟２－１上越総合技術　　３回戦　新潟１－２佐渡
- 女子：団体　１回戦　新潟０－３長岡向陵

卓球　男子：団体　予選トーナメント　１回戦　新潟３－２長岡農業　２回戦　新潟２－３新発田中央
女子：団体　予選トーナメント　１回戦　新潟２－３長岡向陵
ダブルス　ベスト16　新田　智美・加藤　あい

バドミントン　男子：団体　２回戦　新潟３－０高田商業　３回戦　新潟１－３新潟東
女子：団体　２回戦　新潟３－０長岡　３回戦　新潟０－３開志国際

サッカー　２回戦　新潟　２－０　新潟東　３回戦　新潟　１－０　東京学館新潟
準々決勝　新潟　０－３　日本文理（ベスト８）

ラグビー　２回戦　新潟12－59新発田南　順位戦　新潟22－12長岡

柔道　男子：個人　66kg級　ベスト８　高田　大暉（北信越大会出場）　ベスト16　石川　勝
女子：個人　52kg級　ベスト８　幸田　美音

剣道　男子：団体　ベスト８
個人　ベスト16　齋藤　拳
女子：団体　ベスト８
個人　ベスト16　五十嵐由華

山岳　男子：１位　涌井　謙佑・菊池　美翔・八幡　直希・鈴木　天翔（全国大会出場）
女子：１位　五十嵐和佳・渡部　優衣・米倉　ゆめ・小林　月美（全国大会出場）

テニス　男子：団体　２回戦　新潟３－０柏崎　３回戦　新潟１－２新発田（ベスト16）
女子：団体　２回戦　新潟３－０三条　３回戦　新潟１－２巻（ベスト16）
シングルス　３位　渡部　結衣（インターハイ・北信越大会出場）
ダブルス　ベスト８　長野麻優子・渡部　結衣

フェンシング　男子：団体　２位　（北信越大会出場）
個人フルーレ　５位　中野　颯太
個人エペ　２位　田中　佑樹（北信越大会出場）
５位　相田　晃成　６位　永野　陽大
個人サーブル　６位　加賀谷知輝
女子：団体　１位　（インターハイ・北信越大会出場）
個人フルーレ　１位　渡邉万泉佳（インターハイ・北信越大会出場）
２位　小畑　悠（インターハイ・北信越大会出場）
個人エペ　１位　渡邉万泉佳（インターハイ・北信越大会出場）
２位　吉村　優里（北信越大会出場）　３位　宗田菜穂子　４位　太田　連
個人サーブル　２位　貝良塚安音（北信越大会出場）
３位　大河内砂恵

弓道　男子：団体　６位
個人　２位　頓所　佑樹（インターハイ・北信越大会出場）
女子：団体　３位　（北信越大会出場）

ボート　男子：シングルスカル　２位　熊倉　奨（インターハイ・北信越大会出場）　４位　羽田　駿介
ダブルスカル　２位　新井　太基・井上　拓土　（北信越大会出場）
３位　長郷　巧太・関川　耀介
舵手付きクォドルプル　２位　古澤　勇海・高井　颯太・阿部　央・上石　崇斗・大庭　翔平
（北信越大会出場）
女子：シングルスカル　２位　倉又　陽菜（北信越大会出場）
舵手付きクォドルプル　３位　曽我日向子・夏目　佳音・若月　柊・星野　悠月・山宮　明帆

空手道　男子：団体形　３位　中林　基貴・髙橋　優心・保坂　泰良（北信越大会出場）
女子：団体形　３位　本間　千裕・山本　優奈・菊地　鼓子（北信越大会出場）

野球　第140回北信越高等学校野球新潟県大会
２回戦　新潟11－６新発田商業　３回戦　新潟１－７北越

写真　優秀賞　岡﨑友里亜　奨励賞　寺島もも香・菅原　美穂
入選　小田　彩葉・大島はるか・齋藤　葵

放送　第66回NHK杯全国高校放送コンテスト新潟県予選
アナウンス部門　３位　大浦　麻鈴（全国大会出場）
ラジオドキュメント部門　３位「赤血球ちゃんの旅」（全国大会出場）
テレビドキュメント部門　４位「To be continued…」（全国大会出場）
創作ラジオドラマ部門　１位「失恋対策委員会」（全国大会出場）
３位「芯のある男」
創作テレビドラマ部門　１位「素直な気持ち」（全国大会出場）
２位「何で文化部じゃダメなんですか？」

囲碁　男子：団体　１位　五十嵐成也・三浦　崇仁・貝沼　亘（全国大会出場）
女子：団体　１位　五十嵐利果・廣瀬　実咲・齋藤　桜花（全国大会出場）
男女：個人　Ａブロック　１位　五十嵐成也（全国大会出場）　２位　五十嵐利果（全国大会出場）

将棋　男子：団体　１位　新潟高校Ａチーム（玉木　薫・保坂　武宏・小林　空）（全国大会出場）
個人　３位　堀川　遼
女子：個人　３位　髙橋美彩音

職員の異動

平成31年４月

〈退職　転出（転出先）〉
校長　飯田　昭男　（退職）
副校長　山田　喜昭　（柏崎常盤高校校長）
教諭　曽我　慶和（新津工業高校）
〃　髙橋　克成　（巻高校）
〃　嶽岡　成樹（新潟西高校）
〃　田村　大介（新潟工業高校）
〃　丸山　凱大（海洋高校）
〃　瀬下　学（十日町高校（全）教頭）
〃　近藤健一郎（柏崎常盤高校）
〃　田中　友二（新潟東高校）
〃　遠山　和志（三条高校）
〃　橋川　義弘（保健体育課指導主事）
〃　石川　陽子（新潟商業高校）
〃　永橋　知明（県立教育センター指導主事）
養護教諭　堀　真弓（退職）
非常勤講師　吉田　佳子（退職）
〃　佐藤　果穂（退職）
事務長　宇治　直樹（退職）
主査　阿部千鶴子（退職）
主任司書　小熊　延幸（新津高校）

〈転入（前所属）〉
校長　市川　亮（県立教育センター所長）
副校長　植木　勲（新潟中央高校副校長）
教諭　阿部　友紀（堀之内高校（定））
〃　西村　健一（大学入試センター）
〃　下村　浩（高田高校）
〃　竹内　宏彰（巻高校）
〃　渡辺　誉志（生活衛生課）
〃　治田　千絵（村上高校）
〃　須貝　哲二（東新潟特別支援学校）
〃　小関久美子（豊栄高校）
〃　吉田理矢子（新潟向陽高校）
〃　小林　一彦（新潟西高校）
〃　中野　克英（新発田南高校）
養護教諭　廣井真由美（新津高校）
常勤講師　小宮山拓実（新発田高校講師）
非常勤講師　外山　正和（新規）
〃　信田智恵子（新規）
養護助教諭　泉　由美子（新規３ヶ月）
事務長　長井　亮（障害福祉課　いのちとこころの支援室長）
主査　仲川由美子（新潟整備部庶務課）
主任司書　劔　智美（新津南高校）
非常勤職員　岩瀧　峻（４月末まで）
スクールカウンセラー　長谷川淳子（週１回（昨年途中から継続））

表紙題字…小川　和恵（101回）
イラスト…池主　憲夫（68回）

会報へ寄稿される方へ

原稿の字数は８００字から１，０００字の間で書いて下さるようお願いします。１，０００字以上ですと紙面の関係で載せられなくなることがありますのでよろしくお願いします。原稿については掲載時期や紙面制限の関係で、字句文章の修正、割愛をさせていただくことがあります。

同期会を開催される期の幹事の方へお願い

同期会の開催に合わせて、是非、会費納入者の拡大にご協力下さい。早めに、開催の期日を連絡頂ければ、事務局で、同窓会報・会費納入のお願い・振込用紙そしてＡ４サイズが入る角２の同窓会封筒を人数分用意しておきます。よろしくお願いします。

「青山同窓会報」は同窓会ホームページにも掲載します。バックナンバーとして今後掲載していきます。

卒業年一覧表

全日制	卒業年		通信制
40回	Ｓ８年	1933年	
41回	Ｓ９年	1934年	
42回	Ｓ10年	1935年	
43回	Ｓ11年	1936年	
44回	Ｓ12年	1937年	
45回	Ｓ13年	1938年	
46回	Ｓ14年	1939年	
47回	Ｓ15年	1940年	
48回	Ｓ16年	1941年	
49回	Ｓ17年	1942年	
50回	Ｓ18年	1943年	
51回	Ｓ19年	1944年	

全日制	卒業年		通信制
52回	Ｓ20年	1945年	
53回	Ｓ20年	1945年	
54回	Ｓ21年	1946年	
55回	Ｓ22年	1947年	
56回	Ｓ23年	1948年	
57回	Ｓ24年	1949年	
58回	Ｓ25年	1950年	
59回	Ｓ26年	1951年	
60回	Ｓ27年	1952年	
61回	Ｓ28年	1953年	
62回	Ｓ29年	1954年	
63回	Ｓ30年	1955年	
64回	Ｓ31年	1956年	
65回	Ｓ32年	1957年	
66回	Ｓ33年	1958年	
67回	Ｓ34年	1959年	１回

全日制	卒業年		通信制
68回	Ｓ35年	1960年	２回
69回	Ｓ36年	1961年	３回
70回	Ｓ37年	1962年	４回
71回	Ｓ38年	1963年	５回
72回	Ｓ39年	1964年	６回
73回	Ｓ40年	1965年	７回
74回	Ｓ41年	1966年	８回
75回	Ｓ42年	1967年	９回
76回	Ｓ43年	1968年	10回
77回	Ｓ44年	1969年	11回
78回	Ｓ45年	1970年	12回
79回	Ｓ46年	1971年	13回
80回	Ｓ47年	1972年	14回
81回	Ｓ48年	1973年	15回
82回	Ｓ49年	1974年	16回
83回	Ｓ50年	1975年	17回
84回	Ｓ51年	1976年	18回
85回	Ｓ52年	1977年	19回
86回	Ｓ53年	1978年	20回
87回	Ｓ54年	1979年	21回
88回	Ｓ55年	1980年	22回
89回	Ｓ56年	1981年	23回
90回	Ｓ57年	1982年	24回
91回	Ｓ58年	1983年	25回
92回	Ｓ59年	1984年	26回
93回	Ｓ60年	1985年	27回
94回	Ｓ61年	1986年	28回
95回	Ｓ62年	1987年	29回
96回	Ｓ63年	1988年	30回
97回	Ｈ１年	1989年	31回

全日制	卒業年		通信制
98回	Ｈ２年	1990年	32回
99回	Ｈ３年	1991年	33回
100回	Ｈ４年	1992年	34回
101回	Ｈ５年	1993年	35回
102回	Ｈ６年	1994年	36回
103回	Ｈ７年	1995年	37回
104回	Ｈ８年	1996年	38回
105回	Ｈ９年	1997年	39回
106回	Ｈ10年	1998年	40回
107回	Ｈ11年	1999年	41回
108回	Ｈ12年	2000年	42回
109回	Ｈ13年	2001年	43回
110回	Ｈ14年	2002年	44回
111回	Ｈ15年	2003年	45回
112回	Ｈ16年	2004年	46回
113回	Ｈ17年	2005年	47回
114回	Ｈ18年	2006年	48回
115回	Ｈ19年	2007年	
116回	Ｈ20年	2008年	
117回	Ｈ21年	2009年	
118回	Ｈ22年	2010年	
119回	Ｈ23年	2011年	
120回	Ｈ24年	2012年	
121回	Ｈ25年	2013年	
122回	Ｈ26年	2014年	
123回	Ｈ27年	2015年	
124回	Ｈ28年	2016年	
125回	Ｈ29年	2017年	
126回	Ｈ30年	2018年	
127回	Ｈ31年	2019年	

平成 30 年度
青山同窓会会費納入者

（H30. 4．1 ～ H31. 3.31）

10月より３月末まで納入いただいた方を掲載しております。４月より９月末まで納入された方は前号に掲載済みです。

会費を納入していただきますと「青山同窓会報」を毎号お届けいたします。申し訳ありませんが、納入のない方には「会報」をお送りすることができなくなってしまいます。

振込先を下記に掲載しております。切り取ってお持ちいただけます。

全日制

43回Ｓ11年
渡部一郎

53回Ｓ20年
山崎典夫

58回Ｓ25年
間島速雄

59回Ｓ26年
池田修次
市川鉄夫
佐藤進

60回Ｓ27年
尾嶋静
平田大六
松井幸彦
丸山敏視

61回Ｓ28年
伊藤英子
竹尾昇

62回Ｓ29年
岩渕眞
杉内愛
土橋晃
渡辺千里

63回Ｓ30年
五十嵐健治
加野英資
計良伸正

64回Ｓ31年
大倉孝男
佐藤章
清水良男
中村輝久
本間義章
松田勲
三日月賢二
山崎雅司

65回Ｓ32年
飯村厚
髙木正道
滝澤敏郎
本間英男
村木利夫
村山雅一郎

66回Ｓ33年
岩橋平吉
乗松尋道
福山忠利
堀江昭雄
吉田六左エ門

67回Ｓ34年
石井幹男
大高道夫
加藤弘
川崎昌彦
桐生和昌
高橋仁
竹内正明

68回Ｓ35年
安達雅巳
奥村ミイ
佐々木賢介
広川忠夫
渡邉千艦

69回Ｓ36年
今井昭雄
大関久美子
大矢明子
斎藤国雄
佐藤彬
佐藤孝靖
清水隆
高柳洋夫
堂垣内亨
村上則彦
横山スミ子

70回Ｓ37年
伊藤正敏
鈴木正俊
関根俊明
山岸憲安
渡辺允雄

71回Ｓ38年
今井清治
佐藤禮子
中野洋子
二宮武彦
渡辺赫子

72回Ｓ39年
富取健彦
中戸義興
中村民子
船岡信雄
堀川武
丸山武志

73回Ｓ40年
佐藤敏郎
佐野重雄
高橋浩
田島健三
中原和之
山崎一徳

74回Ｓ41年
石原法子
笹川雅之
鈴木勝紀
髙橋信郎
髙橋典久
坪川藤夫
福田善規

75回Ｓ42年
小原克己
小山隆
篠田昭
鈴木広志
田中章
野崎茂
室塚泰二
森邦雄
山田優
吉川恵次

76回Ｓ43年
相沢初美
大山哲司
尾張明美
北村幸輝
佐田克巳
名畑哲雄
浜田正継
渡辺春夫

77回Ｓ44年
井上博夫
小澤俊雄
佐藤寿一
西山茂
水野義行
山崎健
山田俊郎

78回Ｓ45年
桑原正順
児玉英樹
関川久男
渡辺美映

79回Ｓ46年
青山義明
伊藤毅
岡島初
川合由美子
古寺尚宏
斉藤秀広
鈴木正昭
髙橋淳二
山岸一成
横尾尚巳
吉田英幸
米原洋一

80回Ｓ47年
阿部哲夫
遠藤敬三
及川純子
沖野謙
菊池のぞみ
近藤康之
坂上郁代
佐々木綾子
津野正裕
堀場恵
松元直子

81回Ｓ48年
GARMORY真理子
鈴木正弘
成澤林太郎
平野秀樹
南加乃子
宮澤政裕
山口由美子
横山淳

82回Ｓ49年
池田勝久
小川雅博
斎藤滋
中島肇
西巻知佐子
平田カオル
米持洋介
渡辺宣昭

83回Ｓ50年
相田八郎
大塚芳彦
小澤匡
熊谷雄一
古藤卓
小沼進一
後藤重則
長島哲夫
成田美和子
長谷川晴彦
町田昇
源川寛
村尾弘子
吉田宏
渡辺光一
渡辺洋

84回Ｓ51年
今湊良信
薄田利弥
小黒仁
佐藤輝
清水泉
鈴木紀夫
瀬在昭弘
田辺雅之
津野和裕
堀江優子
芳川敦子

85回Ｓ52年
荒川弥男
石田富美子
伊藤景範
太田淳
小出一之
小林彰義
小林正巳
近藤真一
塩田拓哉
杉林亨
登坂和生
成田一衛
花角英世
馬場和宏
福島綾子
藤田郁代
藤田信也
本間諭
本間裕明
森大輔
森知之
若林昌哉

86回Ｓ53年
阿保聖子
片桐一夫
河合慎次郎
佐藤朗
白倉俊隆
服部了
森屋剛

87回Ｓ54年
長谷部淳

88回Ｓ55年
大橋恵子
小池真理
小竹聡
南場充
長谷川弘
吉岡潤

89回Ｓ56年
佐野義孝
灰野正宏

90回Ｓ57年
雨夜喜美子
清野良裕
齋藤道明
信太典子
関根康弘
高野裕一
田辺裕美
田辺靖貴
渡辺竜助

91回Ｓ58年
梶谷敬子
松永恵
渡辺輝浩

92回Ｓ59年
笹崎幹
中島貴子
藤嶋尚美
本多久子

94回Ｓ61年
加島倫子
櫻井麻利子
箕輪興仁
横田さおり

96回Ｓ63年
荒井重信
江口直
山岸義晃

101回Ｈ５年
今井慶貴
打越輝昌
増井隆二

102回Ｈ６年
小島祐司

103回Ｈ７年
中前千佳
西脇文敬

104回Ｈ８年
高橋彩子

105回Ｈ９年
武田博之

108回Ｈ12年
上野精一郎

113回Ｈ17年
波多野雅敏
樋口真佑子

115回Ｈ19年
林康貴

116回Ｈ20年
西部由佳莉

118回Ｈ22年
中村貴明

120回Ｈ24年
中澤佑介

121回Ｈ25年
相澤有香
山縣香奈
余湖未笛

123回Ｈ27年
小出拓郎

124回Ｈ28年
相澤知里
土佐聡馬

通信制

２回Ｓ35年
桜井修

３回Ｓ36年
川端欽吾

８回Ｓ41年
金田静江

10回Ｓ43年
斎藤レイ

11回Ｓ44年
野上久美子

12回Ｓ45年
阿部勇太郎
田辺辰次
田村幸栄
吉野久美子

14回Ｓ47年
佐藤芳子

22回Ｓ55年
加藤のり子
佐々木浩之

30回Ｓ63年
本多孝一

31回Ｈ１年
田中麻紀子

32回Ｈ２年
武正志

34回Ｈ４年
田中博子

35回Ｈ５年
逢坂澄子

40回Ｈ10年
星恒市

41回Ｈ11年
本間明子

青山同窓会 年会費

１口　1,000 円。
できるだけ２口以上でお願いいたします。
手数料はご負担をお願いします。

振込先

【郵便振替口座】　00650-7-4455　青山同窓会
【第 四 銀 行】　白山支店　普通口座
5008609　青山同窓会年会費